

当社グループ会社の Rheem 社と富士通ゼネラルとの共同開発第一弾となるエアコンを発売 北米市場でさらなる販売を拡大

株式会社パロマ（愛知県名古屋市/代表取締役社長執行役員：中島真也）のグループ会社である Rheem（本社：米国アトランタ/以下、リーム社）は、株式会社富士通ゼネラル（以下、富士通ゼネラル）との共同開発の第一弾として、両社の技術を融合したマルチポジションタイプの全館空調方式エアコンを開発、北米向けに8月25日より発売します。

米国の空調機市場は、ダクト式全館空調方式が主流で市場の約90%をしめていますが、その中でリーム社は市場における高いブランド力を有しております。また、富士通ゼネラルとは、2017年より相互OEM供給を開始し、協業関係を構築してきました。

今回共同開発した機種は、リーム社が開発した室内機と富士通ゼネラルが開発した室外機のハイブリッド製品です。リーム社製をベースとした室内機は、北米で主流のマルチポジションタイプで設置性に優れ、富士通ゼネラル製をベースとした室外機は、一般的な全館空調方式の室外機に比べてコンパクトながら、静音性に優れています。両社の技術を融合した省エネ性・静音性・快適性に優れた製品を新たにラインアップに加え、北米市場でのさらなる販売拡大をめざします。

リーム社はアトランタに本社を置き、暖房、冷房、給湯、プール/スパ暖房、業務用冷蔵庫を製造・販売しています。今日、その製品は50か国以上で使用されています。1988年パロマ（愛知県名古屋市）が全株式を取得しました。



マルチポジションタイプの室内機(写真左：3/4ton)と
横吹きシングルファンタイプのコンパクトな室外機（写真右：3/4ton）

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パロマ 広報室

〒467-8585 愛知県名古屋市瑞穂区桃園町 6-23 / 052-824-5251（直通）

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。